

2023.10.2.



Peace Now! Nagasaki 2023



概要

日程：2023年8月31日(木)～9月1日(金)

GL会議を8月30日(水)で実施

場所：長崎大学生協文教キャンパス 長崎市内

人数：参加者13会員生協23名 GL10名 実行委員・運営12名

東京大(2)岐阜大(2)奈良女子大(2)近畿大(2)岡山大(2)広島大(1)島根大(1)福山市立大(3)長崎大(1)
長崎県立大シーボルト校(3)長崎県立大佐世保校(2)熊本大(5)宮崎大(1)APU(3)各ブロック(11)その他(4)

セミナーテーマ

【全体テーマ】私がつなぐ・あなたと広げる未来のバトン
～平和を伝えていくのはわたしたちの1歩から～

【ナガサキテーマ】

- ・長崎の地を通して、歴史や平和に関する学びを深める
- ・参加者が自らの言葉で積極的に平和について語り合い、様々な想いを基に、平和を考える価値を見つける
- ・今後の平和学習や平和活動に向けて、1歩踏み出すきっかけを得る

企画内容

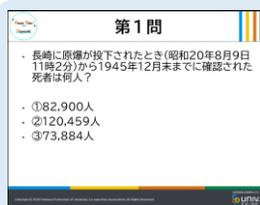
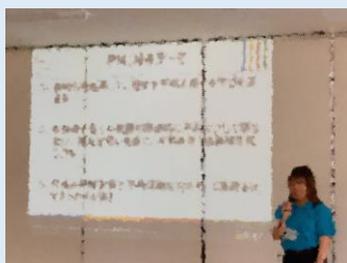
00 長崎の平和式典動画から 感じた事はなんだろう？

【事前学習会】8/9(水)18:00～20:00

8/9は長崎に原爆が落とされてから78年の日でした。学習会のはじめは、長崎や戦争に関するクイズを通して、知識を身につけました。”長崎の地”というテーマのもと、戦争のことはもちろん、長崎の特徴を知りました。また、長崎市内で行われた平和祈念式典の「長崎平和宣言」と「平和への誓い」を聞き、感想を話したりしました。平和に関する想いを深めることができました。

平和…暴力の無い世界
(熊本大・1年)

最終的には「平和を目指そう」って言葉がなくなっ
てほしいと思う。「平和」
を「当たり前」に
(奈良女子大・2年)



事前に平和についての自分
なりの考えを漠然とでは
あるが、持つことができ
てよかった。
(東京大・1年)



01 みんなの平和に対する 想いはなんだろう？

【開会式】8/31(木)13:00～13:20

開会式では、実行委員長挨拶・企画局長挨拶・事務連絡が行われました。実行委員長挨拶では、参加者一人一人が、この時点で考えている“平和”について考える時間を作りました。企画局長からは、Peace Now! Nagasakiに対する想いを伝えました。

02 学びをともにする仲間と 長崎を知る！

【アイスブレイク】8/31 (木)13:20～13:40

アイスブレイクでは、「ぴーなう長崎かるた」を行いました。全国から集まった参加者・GLみんなが盛り上げられる雰囲気を作るため、「長崎だから学べること」を意識して作りました。戦争に関する遺跡はもちろん、長崎の名物や歴史など、様々なジャンルからお題が選ばれました。参加者みんなで盛り上がる事ができた時間でした。



特に4人家族で2匹の魚しか与えられず飢餓に苦しんだことが印象に残っています。現在の日本はフードロス問題など食料が飽和するほどあるので、今では考えられない状況が起きていたのだと驚きました。(宮崎・1年)



03 戦争当時や被爆されたときの様子を知る！

【被爆者講話】8/31 (木) 13:40～15:10

被爆者講話では、10歳の時に被爆された森田さんにご講演いただきました。2022年開催のPeace Now! Nagasakiでも森田さんに依頼しており、実行委員の強い希望でお願いをしました。戦争によって学校の授業が軍事化する一方で、子供たちの「友達と過ごしたい、遊びたい」という思いは変わらなかったことがとても印象的でした。改めて、全ての人を巻き込む戦争は絶対にあってはならないと思いました。

04 長崎を5感で体験！ 実際に歩いて何を感じた？

【フィールドワーク】8/31 (木)15:10～18:30
9/1 (金)9:15～12:40

Peace Now! Nagasakiのメインともいえるフィールドワーク。2日間たくさん歩いて、長崎にたくさん残されている被爆遺構をめぐりました。実際に被爆したまま残されているところも多く、戦争・原爆の威力を“目”や“手”で体感することができました。

☆平和公園☆



平和に関する場所を自分の足で回ることで、より平和に興味を持つことが出来た。(近畿大・1年)

☆爆心地公園☆



平和に関する建物の多くには水を使ったデザインが施されていたり、原爆落下中心地碑を横から見たら家の形になっていたりと細かい所まで被爆者を追悼する工夫がみられました。(宮崎・1年)

☆国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館☆



追悼空間で、原爆死没者の氏名が記された名簿の中に白紙の名簿が1冊あると説明していた。身元不明者の犠牲者を弔うため、大切な思いが込められていたり、細かなところへの配慮がすごい。(福山市立大・1年)

☆長崎原爆資料館☆



実際に原爆資料館に行き、原爆の恐ろしさや悲惨さを痛感しました。(岡山・2年)

☆1本柱鳥井☆



被爆者や、原爆に関することを知ろうとする人たちへの思いも知れた。今までで一番意欲的にそういったものに触れ、知ろうとする機会となった。(関西北陸BK・4年)

☆山王神社の被爆クス☆



被爆クスの内側が
変色しているのが、
コンクリートの補強
だと思ってしま
うくらい無機質に感
じて印象に残りま
した。
(奈良女子大・1年)

☆如己堂・永井隆記念館☆



多くの平和を願う言葉
やそれが寝たきりに
なって書かれたもので
あるということを知り、
この思いを自分たちが
たくさんの人に伝えて
いかなければならぬと
強く感じた。
(APU・2年)

☆浦上天天主堂☆



そしてネットで見る
より実際に目で
見て肌で感じ考
えることで、被爆者
の心からの願いや
原爆や戦争の悲惨
さをより感じるこ
うことができました。
長崎県立大・2年

☆城山小学校☆



大きな被害があり、絵
と文で当時起きた悲惨
な状態が描かれていて
心にくるものがあつた。
原爆の被害を受けた建
物だからこそ原爆資料
館では感じれない雰囲
気や臨場感を感じれて
勉強になった。
(福山市立大・1年)

05 2日間の学びで印象に残った瞬間はいつだった？

【心に残る1枚】9/1 (金)13:20~13:40

2日間のフィールドワーク中に撮った写真の中から、最も印象に残ったものを選び、発表しあいました。同じ遺跡を見ても、感じ方・見方は人それぞれ違っており、参加者同士の様々な意見を聞くことができました。また、写真を見返すことで2日間を通して得た学びを一つひとつ振り返ることができました。



一緒にフィールドワークをして同じもの見てきても人それぞれ感じたこと考えたこととなるのがとても面白いなと思いました。
(長崎県立大・2年)

「のこす」をテーマとしてまとめましたが、グループで話し合いながら作ったのでいろいろな意見を吸収しながらまとめることができました。
(岐阜大・2年)



06 2日間の学びをまとめよう！

【ポスターセッション】9/1 (金) 13:40~15:10

フィールドワークの感想交流や、ここまでの企画を通して自分の平和への想いがどう変化したかを考え語り合う平和ワークを行いました。そして、2日間の学びを1枚のポスターにまとめて発表しました。感じたことや学びを伝えるために、創意工夫を凝らしたポスターが出来上がりました。それぞれの班の発表を参加者は熱心に聞いており、新たな考え方や伝え方に刺激を受けていました。

07 平和への想いを鶴に込めて…

【折り鶴やるよ】9/1 (金)15:10~15:40

ここまでの企画を踏まえて、平和への想いや願いを自分の言葉で綴りました。そして、その想いを込めて、皆で折り鶴を折りました。被爆の影響で白血病と診断され、闘病生活のあいだに「鶴を千羽折ると病気が治る」と信じて鶴を折り続けた佐々木貞子さん。このエピソードから、千羽鶴は世界平和を願う象徴として、多くの千羽鶴が捧げられるようになりました。私たちも、平和の実現に願い込めて、丁寧に制作しました。

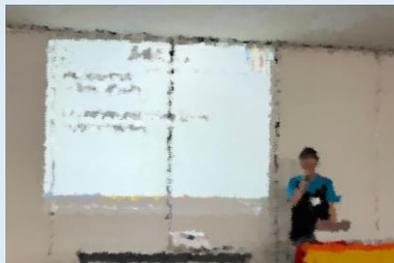


各地に折り鶴があることに気づいていたのですが、それがどのような理由で贈られているのかを知らなかったため、新たな知識を得られて良かったです。
(宮崎大・1年)

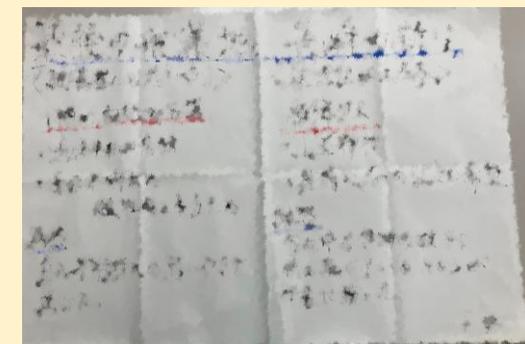
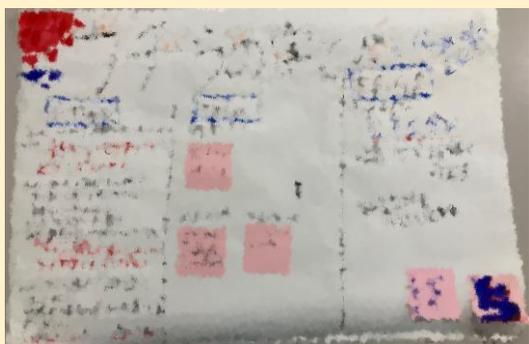
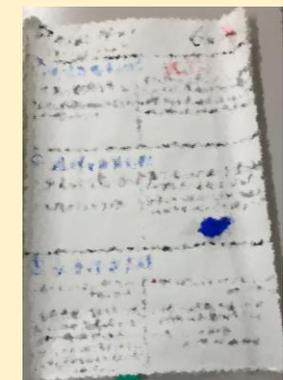
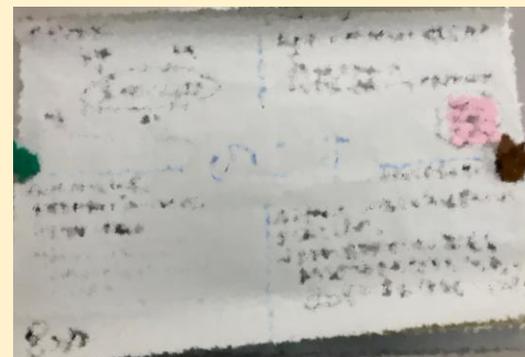
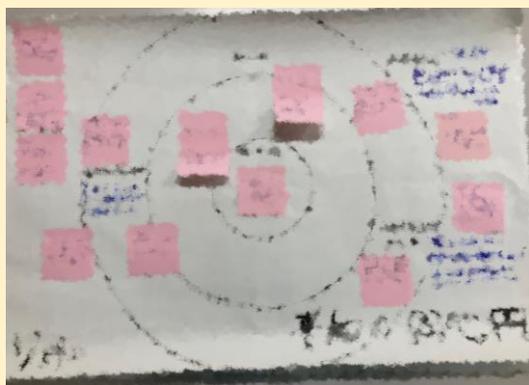
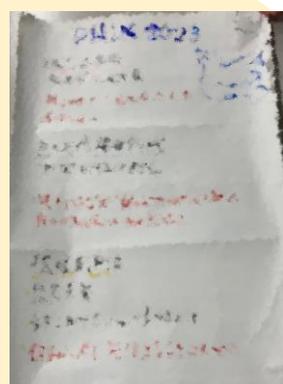
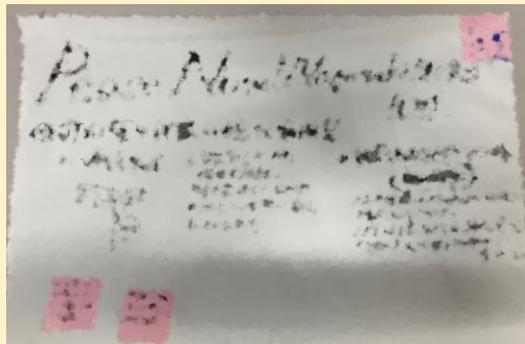
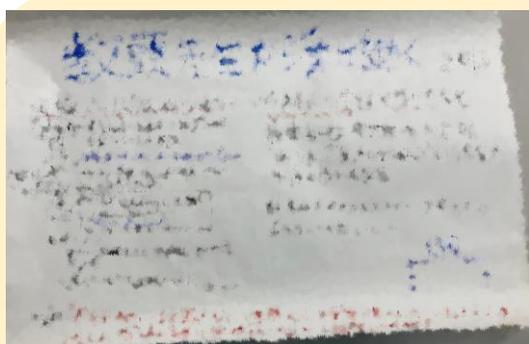
08 改めて、あなたの平和への 想いはなんだろう？

【閉会式】8/31(木)15:40~16:00

閉会式では企画局長挨拶と実行委員長挨拶がありました。企画局長挨拶では、2日間の学びの振り返りを行い、「2日間の学びを今後に繋げてほしい」と伝えました。実行委員長挨拶の中では、2日間を通して感じた“平和”への想いをワークシートに記入しました。“平和”への想いは大事に更新していきたいですね！



自分一人ではなく、みんなで考えることができるからこそその平和がある
(岐阜大・2年)



“長崎”で学んだことは様々！改めて、振り返って、“平和”とは？を友達に伝えていきましょう。平和への想いはみんなの第1歩から始まります！

編集後記【実行委員会より】

みなさんにとって“平和”って何でしょうか？私たち実行委員がPeace Now! Nagasakiで伝えたかったことはたくさんありますが…、一番は“価値観の更新”というキーワードがポイントだったと感じています。初めて長崎に来る人、観光で来たことがある人、平和を学びに来たことがある人、ずっと長崎に住んでいる人…等、様々な人が参加者として、グループリーダーとして、実行委員として長崎に集いました。各々が思う“平和”を言葉にして、共有し合った2日間だったと思います。改めて、各地に帰ったみなさんで「知り・知らせ・考え・話し合い・行動する」を実行し、仲間・組合員・社会&未来の社会へ“平和”への想いを拡げていきましょう。

